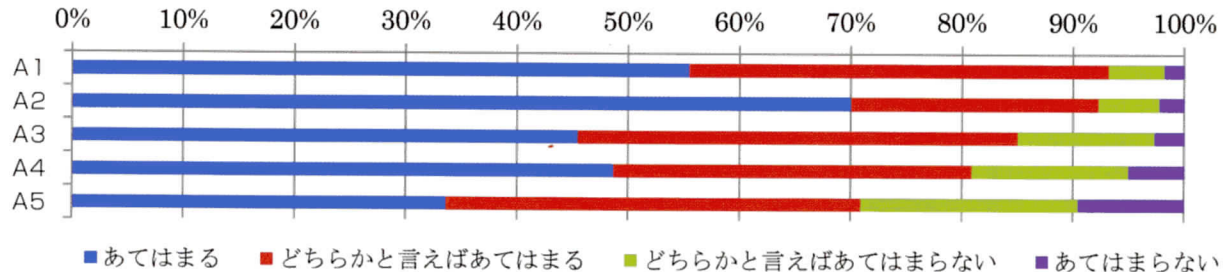


## 成果と課題

### 全学年アンケート資料より

- Q1. 授業での学級の友達と話し合い活動では、話し合う内容を理解して、相手の考えを最後まで聞くことができたと思う。  
 Q2. 授業の最後に学習内容を振り返る活動をよくおこなっていたと思う。  
 Q3. 授業で学んだことを、他の学習に生かしている。  
 Q4. 自分にはよいところがあると思う。  
 Q5. 学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている。



### ●児童の振り返り

- ・今までは自分の意見をゆうせんして、友達の意見はその人の意見としか聞けていなかったけど、今は自分の意見と似ているとか、いい考えだなと思いながら聞けるようになり、自分の考えを深めることができるようになった。(4年)
- ・「元気のいいあいさつだね。」と地域の人がほめてくれるので、元気よくあいさつできるところが自分の良いところだと思っている。(5年)
- ・国語科で学習したことを生活の中で使えるようになっている。例えば、敬語を使って話したり全校放送で聞き手に分かりやすく伝えたりできるようになった。(6年)



### 成果

- めあてから振り返りまで一貫性のある授業や言語活動を大切にしたい学び合いのある授業を展開することで、学びが深まりつつある。特に、振り返りの時間を確保したことで、自分の考えが1時間の中でどう変容したのか捉えられるようになってきた。
- 学習基盤づくりで大切にしたいことを全学級で共有し、実践することで、授業に集中して学習できるようになってきた。
- 国語科で身に付けた力を他教科や学校生活で生かす場を大切にすることで、積極的に発言する児童が増えてきた。
- 道徳の学習を基盤とし、相手の話を最後まで聞き、友達の考えを受け止めて自分の考えを述べることを大切にすることで、学級全体の温かい人間関係が生まれてきた。
- 特別活動で児童が主体的に活動する場面やグループで課題解決する学習を大切にすることで、自分の頑張りを肯定的に捉えられる児童が増えてきた。
- 授業に効果的な言語活動を位置付け、学び合いの基礎を築く授業力が身に付きつつある。

### 課題

- 児童の多様な考えを引き出すための中心発問や考えを深めるための授業展開・形態を更に工夫する必要がある。
- 振り返りを更に充実させ、学びを確かめたり、次時の授業・家庭学習への意欲につなげたりするようにする。
- 45分完結の授業を行うために、単元の中で身に付けさせたい力を明確にした単元の計画、ねらいを焦点化した授業展開ができるよう、更に授業力・教材研究力を身に付けていく必要がある。
- 小中で互いの「育てたい子どもの姿」を共通理解し、「学びを育む京丹波町メソッド」を大切にしたい授業を積み上げ、確かな学びにつなげていく必要がある。
- 児童の主体的な学びを育成するために、道徳の別様を活用し、学校の教育活動を横断的に捉えた教育課程を更に充実させる必要がある。

## 研究同人

平成29年度	日下部 進	中田 匡 恵	中井 典 宏	岡 泰 之	森 智 子	中野 志 保
	太田 智 美	齊藤 聖 子	古田 千 鶴	石田 望	栃下 貴 尚	塩 貝 哲 哉
	長尾 朋 美	小矢野 侃	池田 あずさ	鷹羽 圭 介	梅田 仁 美	酒 井 亜 樹 奈
	北井 松 明	榎川 久 仁 子	村山 美 智 子	白 樫 文	山田 満 貴	河 村 泰 宏
	西村 卓 子	出野 悦 子	坪井 郁 子	川 勝 明 彦	森 宏 美	谷 澤 智 子
	樹山 菊 枝	藤原 有 里 絵				
平成28年度	塩谷 由美子	塩 貝 み どり	名 倉 季 子	山 村 志 織	桂 貴 人	仲 西 恭 子
	河 原 恵 子	日 下 部 美 紀	田 中 有 希			